

平成22年3月17日(水)

第5回雷別ドングリ倶楽部の活動

3月17日(水)、今年度最後の雷別ドングリ倶楽部の活動「樹木の冬芽観察」を、会員16名が参加して、根釧西部森林管理署前庭及び春採湖周辺の森で行いました。その後、室内に場所を移して、平成22年度の雷別ドングリ倶楽部活動内容について協議しました。

冬芽の観察では、森林管理署の前庭にあるミズナラ、ダケカンバ、ナナカマド、オニグルミなどの冬芽を観察しました。春採湖周辺の森では、チョウセンゴヨウマツ、モンタナマツなどあまり見かけない針葉樹も観察しました。職員の説明を熱心にメモに取る会員もいました。また、「ダケカンバとシラカバの見分け方は?」、「シナノキはこの周辺にあるのか?」など、様々な質問がありました。

平成22年度雷別ドングリ倶楽部活動の協議では、「継続会員のほか新たな会員募集を行う」、「年5回の活動を行う」、「森林ボランティア養成講座への積極的な参加を行う」などを決め、今年度最後の活動を終わりました。

(自然再生指導官 朝倉)



庁舎前庭で樹木の冬芽の観察



庁舎前庭で樹木の冬芽の観察



22年度の活動について協議